

### 消防団員数の適正化について

**問** 昨年6月定例議会で新市消防団員数の見直しについて質問したが、合併1年となりませんが、「団員の確保が困難でありますので、順次見直しを検討する」とされていたが、その後は

**答** 消防団員数の適正化を図る組織再編成の検討をしました。結果、人口と面積など勘案して現状の416名を平成19年度までに目標総員356名としました。

### 幼稚園の「預かり保育」について

**問** 幼児教育における幼稚園の「預かり保育」について昨年9月定例議会で質問したがその後の検討結果は

**答** 長時間保育を願う親には保育園へ入所していただいています。制度化については、要望等があれば適切な対応を図ります。



### 行政の活性化を図る管理職登用について

**問** 昨年12月定例議会で「やる気のある職員への積極的な管理職登用を行い、行政の活性化を図られるよう」質問しましたが、どう実践していくのか

**答** 業績を評価する「人事評価システム」の導入を検討。基本的には男女に関係なく、能力や意欲により登用することが重要と考え積極的に登用に努めたい。

### アマチュア無線と行政

**問** 新聞・テレビなどでもさかんに報道収集及び伝達の重要性が認識され、最近実施した無線資格取得講習では約90名が取得され、なかでも20名弱の消防団や市職員が真剣に受講していました。アマチュア無線に大きな期待が高まっていますが、行政とのつながりをより強く図っていく考えは

**答** 自主防災でアマチュア無線クラブより情報提供が得られることは望ましいことです。市民ボランティアの育成を通して防災活動に取り組みようなまちづくりを推進します。

### 環境問題

**問** 昨年御前崎市でも台風による被害は大きく、その原因の一つとして地球温暖化の環境

問題があります。人と自然が触れ合う環境の充実のため市役所による環境保全活動を具現化する「環境ISO」取得を至急進めるべきだと思いますが

**答** 指針となる環境基本条例や計画策定を考え認証取得も検討します。今後もさらに環境対策の調査・研究をします。

### 企業誘致

**問** 昨年6月より進展がないようですが、工業用水確保の見通しがたったそうですが、現状と隣接市との企業誘致競争に対する手段は

**答** 港湾関連企業が1社進出、又コンテナ貨物取扱い企業が申請中であり、その他6社より相談を受けています。企業立地室を設けて首都圏など大都市圏への企業訪問を積極的に展開していきます。